

チロリ通信vol.21 (2024)

発行元：NPO しずおかセラピードッグ サポートクラブ

〒410-0036 沼津市平町 24-4-902
TEL 055-962-3190 FAX 055-960-9720
<http://npo-stds.com/>



facebook



home page



I、捨て犬・命のレスキュー記録！幸せになったワンコたち

① ジョー太郎君(預かり名:ジョー) 2023.5譲渡

ジョーは、2022 年末に浄蓮の滝付近で保護され年明けも飼い主のお迎えがなかった 27kg の雑種犬でした。大型犬ともなると譲渡会に参加してもなかなか里親希望者様も現れず、地元の情報誌にも載せて頂き里親様を探しました。

そんな中、富士市にお住いの佐藤様からオファーされトライアルを経て正式譲渡となりました。トライアル中には、脱走もしてジョー太郎君をご家族様と共に夜遅くまで探したこともありました。幸せを掴んだ今では笑える思い出話、何よりも無事発見されたことが本当に強運のワンコです。BIG で厳しいお顔ですが性格は大変穏やかなジョー太郎君。佐藤様に巡り合えて本当に良かった！

佐藤様ご家族の一員としてこれからもずっとお幸せに。

(志田はるみ)

➡医療費、フード代他以計約 14 万 1,794 円をクラブより支出しました。



② モリちゃん 2023.11 譲渡

モリは、富士市森島付近で保護され飼い主のお迎えの無かった柴犬です。預かり当初は、食事にムラがあり毎日どのように食べさせようかと試行錯誤の日々でした。

飼い主に捨てられ保護された犬は、心の傷が癒えるまでに時間がかかります。10 頭以上の預かりをしてきて和犬は特にそう思うのです。

やっと心を開いてくれて、信頼関係を築いて来るとお別れしなければなりません。

保護犬の今後の犬生が幸せになるように、お預かり中しっかり躰と愛情を注ぎご縁あって巡り合ったご家族様と共にワンコの幸せを願うのです。モリの今の幸せは、預かり中の愛情の賜物です。

モリ、幸せ掴んで良かったね。

(志田はるみ)

➡医療費、フード代他以計約 10 万 971 円をクラブより支出しました。



③ ケイダイ君 2023.8保健所引出し(24.3.12永眠)

我が家の初めての一時預かりの子でした。名前は仮ですがケイダイです。とても可愛い顔した推定 8 才～9 才の雄でした。

我が家で最初の暮らしはやはり最初に聞いていた通り、追い泣きがあり、買い物に行くのに外出すると 30 分以上大きな声で泣き、近所の人泣いてたよ、と教えてくれるくらいでした。

買い物は誰か帰ってきてからとか、テレビをつけたまま行ったりして対応しました。

次に困ったのはケイダイが先住犬にマウンテングをして先住犬が嫌がり、ケイダイを見ると吠えることもありました。

最初の 2 ヶ月はそんな日々があり、それもやっと落ち着いた所、

今度は体調不良となり病院通いもありました。餌も食べたり食べなくなったり、毎日ケイダイの好きな食べ物を探り探り見つけたりもしました。結局、ケイダイの最後は血管肉腫と言う癌が原因でした。急変した最後の夜は私の布団で一緒に過ごせました。

この数ヶ月間、盛りだくさんの経験や思い出を私達にくれた可愛い子でした。ケイダイくん有り難う。3 月 12 日ケイダイ永眠。

(三木恵美子)

➡医療費、フード代他以計約 33 万 6,055 円をクラブより支出しました。



Ⅱ、メンバーの愛犬・愛猫紹介！

① シェダー君

一昨年の7月、実家からの帰り道に、たまたま寄った岐阜のS.Aで行われていた保護猫譲渡会場でシェダーと出会いました。ケージの隅で人間を拒否するように背を向けていた子。先住猫のポンと同じ、多頭飼育崩壊の現場で生き残ったうちの一匹でした。

帰宅後も彼の姿が頭から離れず、直ぐに再度岐阜まで面会に行き、トライアルを経てウチの子になりました。

これまで人からの愛情を受ける事なく‘生き残る事’だけに必死に暮らしてきた子なのでシェダーにとって人との関わりは恐怖でしかありません。

一年半位は「シャー！」の連続でしたが、今は少しずつ私達の声掛けに返事をしたり体にも触れさせてくれるようになりました。これからもゆっくりゆっくり、シェダーのペースで、一緒に幸せになろうね！

(清水まゆみ)



② ぽんちゃん

ブリーダーから豆柴のぽんちゃんを引き取ることになりました。ぽんちゃんは目がくりっとして、本当に小さい体で、とてもかわいいのですが、歩くことが出来ず、目も見えないようでした。

家に来た時は、まったく、正気がなく、小刻みに震えていました。ブリーダーのところでは、檻に入れられて、ろくに餌ももらえず、劣悪な環境にいたようでした。このままでは、死んでしまうと初めて見た時に感じました。

ブリーダーによって、売るために小さい犬をつくり、産ませていく過程で、ぽんちゃんのような被害者が産まれて来るのだと、とても悲しく、怒りさえも持ちました。

今、ぽんちゃんは、とても、明るくなりました。遊んであげようと、私が近づくと、かわいい目をこちらの方にむけて、笑っているような顔をします。餌が欲しい時は、大きな声で鳴くようになりました。とにかく、ぽんちゃんは、頑張って生きています。

(竹松美津子)



③ リンちゃん・スズちゃん

我が家の新しい家族は、元野犬の子たちです。香川県の山で捕獲され横浜の保護団体が引出してくれた子達です。

香川県といえば殺処分ワースト3に入る県だとテレビで知り、何となく気になっていました。犬を飼うなら1頭でも何とかしたいという思いで横浜まで逢いに行くと、そこには兄弟仲良く寄り添い、ビクビクとしている2頭が迎えてくれました。

その姿を目の前で見ると、ん〜と頭のなかいろんな事がよぎりました。これからの2頭の餌代、病院代や散歩、自分の体力などなど次にふと思った事が、私が2頭受け入れれば保護団体の枠が2頭空き全部で4頭が助かる、なども頭によぎり、思い切って2頭を受け入れました。

最初は何をしてもビクビクと寄り添って居るし、ゲージからなかなか出て来ない日もあり、そうだ！一緒に居る時間を長くしよう、とゲージの前で寝る事にしました。

そんな日々を積み重ねて2年。今ではお座りや待て、伏せなどもできる様になり、少しずつ人間が居る生活に慣れてくれています。

今では大切な家族の一員です。怖く悲しい思いをした子達に毎日元氣をもらっていますよ！

(三木恵美子)



④ ハナちゃん 20歳で大往生 (2005.12 保護～ 2023.5.21 永眠)

2005年12月10日夜に1本の電話。わんこのパフィーさんからお客様からの相談とのこと。「柴犬が子犬4匹を生んで空き地にいるが保健所に連れて行かれるのは可哀そう！なんとかならないか！」

当時は成犬が保健所に入ると飼い主以外は引取りが出来ず飼い主が現れないと殺処分でした。私達は翌日、国際セラピードッグ協会の大木トオル先生のチャリティーディナーショーで東京に行くことになっていたので、朝一番でその空き地に保護に行きました。現場に着くと石が積み上げられた空き地に犬がいた気配はありましたが1匹もいません。「パンの耳を持って来たのに…」と話していると、やせ細ってオッパイが垂れ下がったキツネミミの犬が近寄って来てパンの耳に食いついてきました。保護成功！

しかし、4匹の子犬がいません。近所の小学生が世話していると聞いていたので、もらわれていったのだろうとその日は親犬だけ保護し、パフィーさんにシャンプーをお願いして私達夫婦は東京のディナーショーに向かい名犬チロリに会ってきました。

翌日、子犬4匹が空き地に戻されていると連絡があり保護へ。子供たちが家に連れ帰ったものの飼えないと親に言われたのではないかと推測。子犬4匹もパフィーさんでシャンプーしてもらい、早速写真撮影をして里親募集です。

可愛い子犬たちは1週間で里親が決まり母犬は我が家の家族として迎えることに。名前は「ハナ」と名付けました。推定3～4歳、その後17年5カ月間我が家の家族として過ごしました。

ハナに異変が起きたのは、2020年7月でした。推定17歳。朝食を吐き、夕食を食べず、頭を傾けてグルグル回る。17歳の高齢、何があってもおかしくない年齢。いよいよかと思いました。

頼りにしている、クラブメンバーの笠井さんに連絡、翌日直ぐに来て介護グッズと回復食を持って来てくれ、「色々試してみると良いよ！」とアドバイスもらいました。

グルグル回り色々なところに頭を入れたり、ぶつかったり…。笠井さんのアドバイスでサークルを作り、その中へ。息も荒く、夜中もずっとグルグル回るハナ。この日からハナの介護が始まりました。毎日排泄と食事の記録。今まで散歩以外でおもらしはしたことがなかったのですが、お家の中で排泄。ハナの性格からして、お家でしてしまうのは嫌な事だと思い、歩ける間はヨタヨタでも散歩に連れ出し、歩けなくなってからはカートに乗せていつもの散歩仲間に会い、土や草の匂いを嗅いでももらいました。緑内障にもなり目も見えなくなりましたが、風や他の犬の匂いは感じてくれると信じて散歩に出ました。

柴犬は認知症になる犬種の一つだということも知りませんでした。徘徊に続き、昼夜問わず鳴いてしまいました。特効薬は無く、私達夫婦も寝不足続きに。元気な頃は、ベタベタ甘えることもなかったハナでしたが、介護状態の3年間はたくさん抱っこをしました。寝かせる為に、子守唄の音楽をかけたものの、ハナは寝ないで私がウトウトしてしまうこともありました。寝たきりでも排泄したいときは「クーン」と鳴くので体を起こしてマッサージしてあげるとオシッコ、ウンチ。飼い主の私が、ぎっくり腰になるなど老老介護となりました。脱水症状も出て週に2～3回水分を補う皮下点滴にも通いました。たまたま、コロナの影響で外出も出来ずハナの傍に居ることが出来たのは幸せでした。ハナの子供たち4頭はハナより少し前に虹の橋を渡ってしまいましたが、今は親子仲良くしているかな～ハナ愛してる、有難う！（加藤 佳子）



Ⅱ、2023年度活動報告

1、保護犬譲渡会

保健所から引き出した保護犬の新たな飼い主を見つけるための譲渡会、チャリティーバザー、啓発コーナー、ワンコ相談など犬（猫）の幸せイベントを協力団体と共に。

- R5. 7. 9 沼津市役所
- R5. 10. 15 沼津市役所
- R5. 12. 17 大仁あさいクリニック



「飼う」ことだけが「愛護」じゃない！
見ることも 知ることも 助えることも ……
あなたにできること みつけに来てください！



★保護犬の譲渡会
★保護犬の初見合受付 (ポスター参加)
★犬グッズ・手作り品バザー
★ペット用品展示
★ドッグマッサージ
主催：犬部（わんわんお助け隊）090-3850-3890
協力：沼津市健康政策課
ポスター掲載期間：2023年10月15日

2、国際セラピードッグ協会 松戸トレーニングセンター訪問 (8/6)

コロナ禍などでしばらく訪問することが出来なかった国際セラピードッグ協会の千葉県松戸市にあるトレーニングセンターを久々にメンバーで訪問。最近のセラピードッグ活動の詳細を大木トオル代表から丁寧にお話頂きました。



3、ぬまづ福祉まつり参加 (10/10 キラメッセぬまづ)

恒例の第14回ぬまづ福祉まつり、私たち NPO しずおかセラピードッグサポートクラブでは、国際セラピードッグ協会よりセラピードッグたちを招聘し、ふれあい活動やデモンストレーションを行いました。



4、防災学習&うまいものマルシェ参加 (R6/3/24)

沼津日枝神社で開催したチャリティマルシェ。私達クラブはペット防災の啓蒙ブースとして参加しました。東日本大震災から毎年おこなわれている支援マルシェ。年々、防災の意識は高まり、私達人間だけでなくペット達にも防災対策は必要不可欠です。マイクロチップ、鑑札・迷子札装着。クレート訓練やペット用品の備蓄など特別に用意しておくのではなく、日常から意識して備えていくことが大切だと思います。啓蒙パネルを熱心に見てくださり、ペット防災の会話などを行いました。みんなで普段から考え、話題にしていけることは大切ですね。愛するペットと共に、生き抜かなくちゃ！(笠井清美)



会員募集



NPOしずおかセラピードッグサポートクラブは会員の皆さんの会費、募金により運営されています。活動にご賛同される方は是非会員登録をお願いいたします。

年会費

一般 3,000円
賛助 10,000円

お振込み先

沼津信用金庫本店
普通 538294
NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ

募金報告

**国際セラピードッグ育成基金 22万7436円、
当クラブ活動募金 16万2064円 ご寄付をいただきました。**

(株) ジャスコム / 阿蘭陀館 / (株) リブテック / ペ・ド・ノンヌ / 沼津観光協会 / パイネ動物病院 / 共生会 / NPO SIDAM
ドッグサロン・ビビ / トニーズホノルル / ドッグカフェ ポワポワ / スナック ジョンブル / しゃんぴによん / わんこのパフィー
極メンチ / あにぱんや / オレンジポット / 美容室 ジェメラーレ / ドッグサロン・アイビー / 飯田歯科医院 / (株) 影山鉄工所
Café day / 沼津信用金庫 / ジャンボエンチョー吉原店 / レストラン エンジェル / 沼津印刷 (株) / 順漢堂鍼灸整骨院
THE BLUE WATER / THE DOG GARAGE 他 個人の皆様